

令和8年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立北津守小学校の結果

～分析から見えてきた成果・課題と今後の取組について～

区 名	西成区
学 校 名	大阪市立北津守小学校
学 校 長 名	石倉 雅之

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和8年4月に、6年生を対象として、「教科（国語・算数）に関する調査」と「児童質問調査」を実施いたしました。

大阪市教育局では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育局の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図るとともに、学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。さらに、そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

(1) 教科に関する調査

- ・ 国語
- ・ 算数

(2) 質問調査

- ・ 児童に対する調査
- ・ 学校に対する調査

3 調査の対象

- ・ 国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・ 大阪市立北津守小学校では、第6学年 16名

令和８年度「全国学力・学習状況調査」大阪市立北津守小学校の結果概要

本年度の平均正答率は、国語科は大阪市平均・全国平均よりも下回る結果となったが、算数科は大阪市平均・全国平均よりも上回る結果となった。

国語科では「A 話すこと 聞くこと」「B 書くこと」「C 読むこと」全ての項目において、全国平均より大きく下回った。

算数科では、「C 変化と関係」の項目が大阪市平均・全国平均を下回ったが、「A 数と計算」「B 図形」「C 測定」「D データの活用」の項目では大阪市平均・全国平均を上回った。

無回答率は算数科は全国平均を上回ったが、国語科は同じポイントであった。

児童質問紙では「自分にはよいところがあると思いますか」の項目では、肯定的な回答の割合が９３％、「普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」の項目の肯定的な回答は１００％であり、全国に比べ大きく上回っていた。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

【国語】

国語科では全ての項目において、全国平均を下回った。特に「B 書くこと」については大きく差が開いている。最も全国平均と差が大きかったのは、「漢字を使って書き直す」問題である。次いで差が大きかった問題は「資料を活用するなどして、自分の考えが伝わるように表現を工夫する」「相手に伝わるように理由や事由を挙げながら話の中心が明確になるよう話の構成を考えることができる」である。どれも状況に応じた言葉選びや表現力が求められるもので、児童質問調査にもあった読書量の低さが原因の一つと考えられる。日々、たくさんの言葉にふれ、表現する場を増やすことが必要である。

一方、「学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うことができるかどうか」の問題では全国平均を上回った。日々、マイクrostepsスタディに取り組むことで、熟語や語彙を自然と習得できたと考えられる。今後も取り組みを継続していく。

【算数】

算数科では「体積の意味について理解している」「日常生活の問題を解決するために、図形を構成する要素に着目して直方体の三つの辺の長さを捉え、示された条件を基に、調べたい数量の求め方を数や言葉を用いて記述できる」「数を四捨五入して、概数で表すことができる」の問題は全国平均より上回った。

「基準量、比較量、割合の関係が正しく表されている図を選ぶことができる」「直方体の箱の形を構成する面について理解している」の問題で全国平均を下回った。

国語科の課題と同じように、問題の意図を理解し、適切な表現ができるように言語活動を行っていくことが必要である。

質問調査より

児童質問紙から「自分にはよいところがあると思いますか」の項目では、肯定的な回答の割合が９３％「困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか」の項目では肯定的な回答の割合が８８％、「学校に行くのは楽しいと思いますか」の項目の肯定的な割合は８７％、普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか」の項目の肯定的な回答は１００％と全国平均を上回った。

児童数が少ないことをメリットに教職員が一体となり一人ひとりが多くの児童に寄り添いながら関わり、また縦割り班活動や学級でのお互いを理解する活動を多く取り入れてきたことで、学校は安心できる場であり、他者へ思いやりを持ち行動することができているようになってきている。

また、今年度道徳科を研究テーマにあげ、取り組んだことで「人が困っているときは、進んで助けていますか」「いじめは、どんな理由があってもいけないことだと思いますか」「人の役に立つ人間になりたいと思いますか」の項目で肯定的な割合はどれも８０％を超えている。今後も、相手の気持ちを理解し、考え、行動できるよう様々な取り組みを続けていく。

今後の取組（アクションプラン）

本校では、児童数が少ないことを活かした取り組みを考え、行っている。週に１回の縦割り班での活動や児童集会などに取り組むことで、高学年が中心となり、よかったことや頑張ったことを話し合い、お互いに認め合うグループ活動を進めている。その結果、高学年がリーダーとしての意識を自覚し、行動できるようになってきた。今後も、異学年交流を積極的に行い、相互理解が深まるよう取り組んでいく。

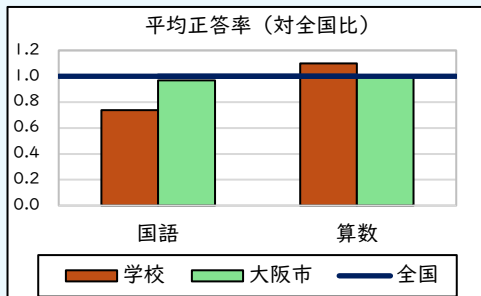
学習においては、グループでの話し合いに学習者用端末（タブレット）を活用しながら活動を進めている。自分の意見をわかりやすく伝えるために表現を工夫をしたり、グループで協働的に取り組んだりすることで相互理解を深め、さらに自己肯定感を高めることにつながっている。今後も、様々な考えや意見に触れる機会や体験活動を通して、より一層それぞれの考えを互いに深めていけるよう取り組んでいく。

また、本校には外国にルーツのある児童がたくさん在籍している。様々な多文化共生の取り組みを通して、人それぞれの多様な文化や価値観を認め共生し、人権を尊重した教育を今後も推進していく。

令和8年度 全国学力・学習状況調査 教科に関する調査結果の概要

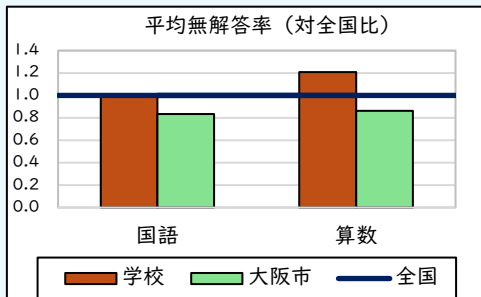
平均正答率（％）

	国語	算数
学校	45	62
大阪市	59	56
全国	60.9	56.4



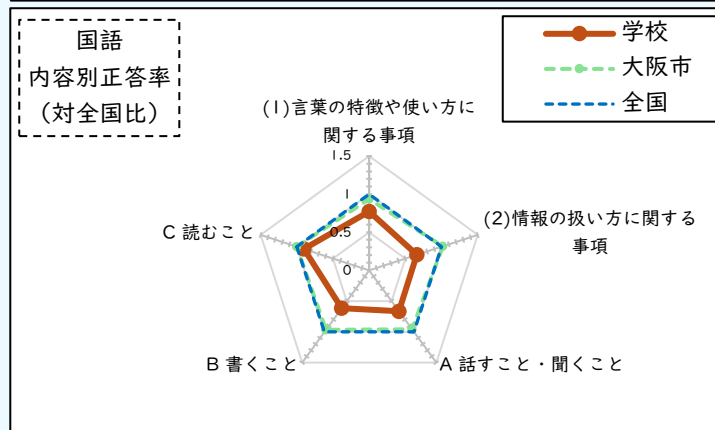
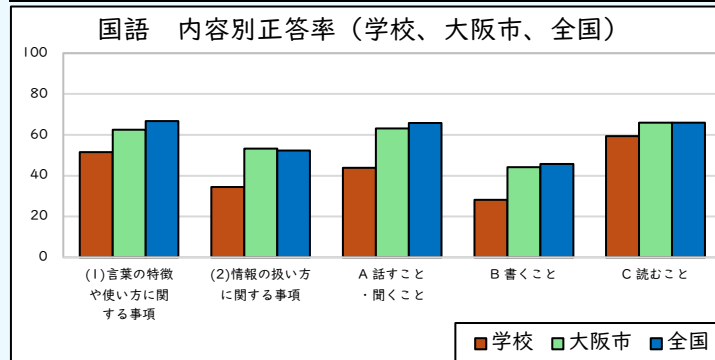
平均無解答率（％）

	国語	算数
学校	3.4	3.9
大阪市	2.8	2.8
全国	3.4	3.2



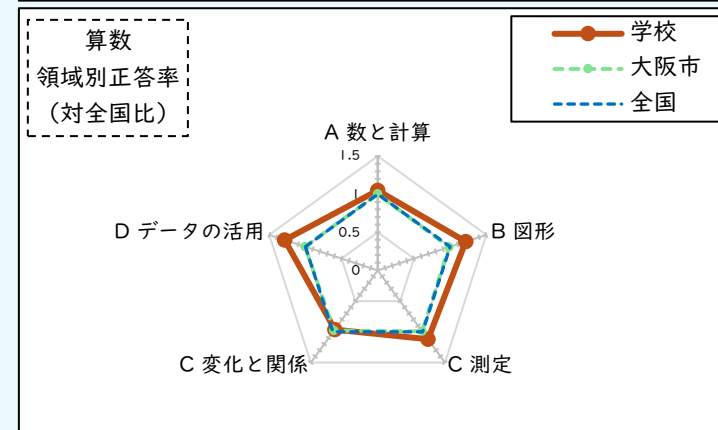
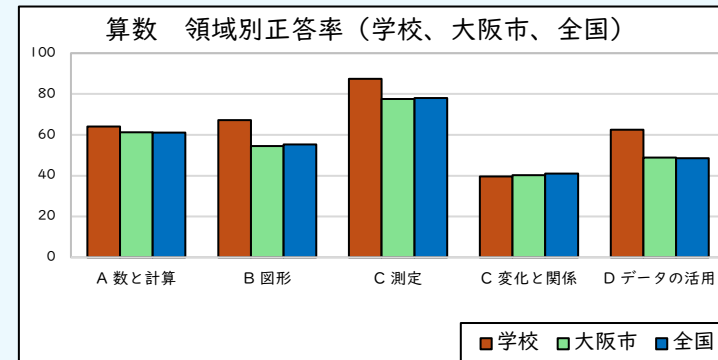
【国語】内容別正答率

学習指導要領の内容	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
(1)言葉の特徴や使い方に 関する事項	4	51.6	62.5	66.8
(2)情報の扱い方に 関する事項	2	34.4	53.2	52.3
(3)我が国の言語文化 に関する事項	0	-	-	-
A 話すこと・聞くこと	3	43.8	63.1	65.8
B 書くこと	2	28.1	44.2	45.7
C 読むこと	2	59.4	66.0	65.9



【算数】領域別正答率

学習指導要領の領域	対象問題数（問）	平均正答率（％）		
		学校	大阪市	全国
A 数と計算	8	64.1	61.2	61.1
B 図形	4	67.2	54.5	55.3
C 測定	1	87.5	77.5	78.1
C 変化と関係	3	39.6	40.3	41.1
D データの活用	4	62.5	48.8	48.6



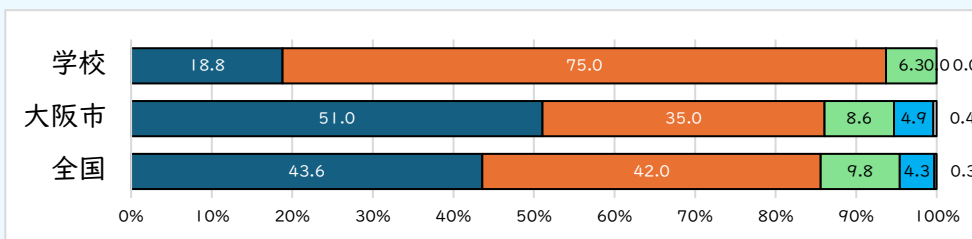
令和8年度 全国学力・学習状況調査 児童質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号 質問事項

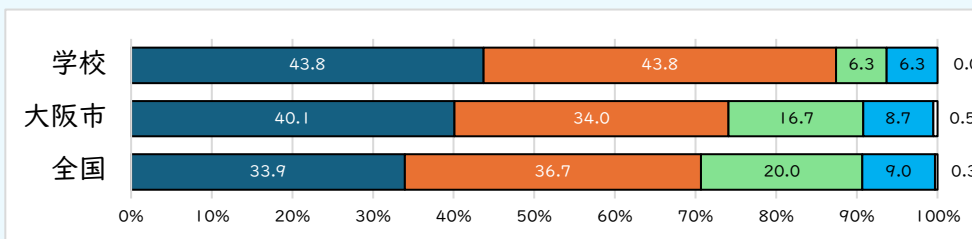
※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(8) 自分には、よいところがあると思いますか



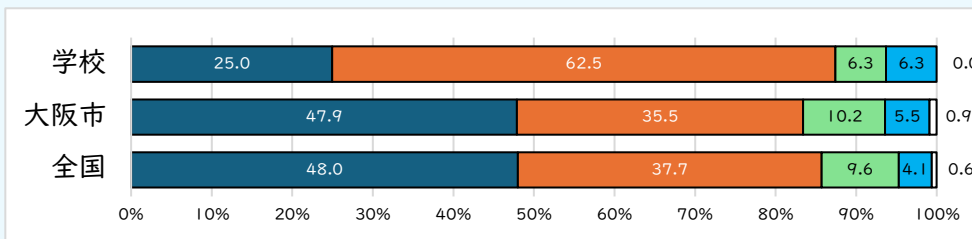
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(13) 困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか



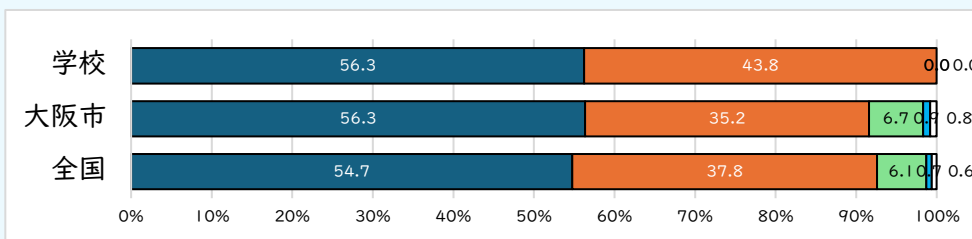
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(15) 学校に行くのは楽しいと思いますか



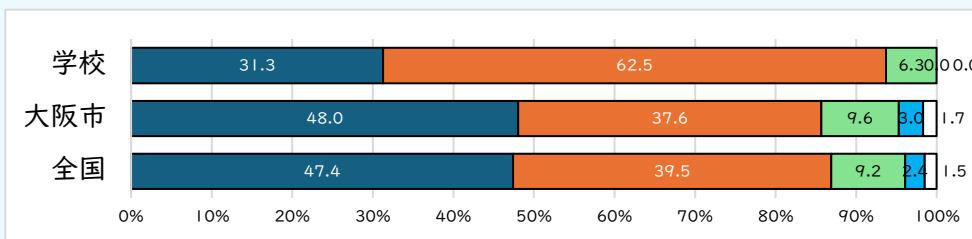
1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

(21) 普段の生活の中で、幸せな気持ちになることはどれくらいありますか



1 よくある
2 ときどきある
3 あまりない
4 全くない

(51) 道徳の授業では、自分の考えを深めたり、学級やグループで話し合ったりする活動に取り組んでいますか



1 当てはまる
2 どちらかといえば、当てはまる
3 どちらかといえば、当てはまらない
4 当てはまらない

令和8年度全国学力・学習状況調査 学校質問調査より

■ 1 ■ 2 ■ 3 ■ 4 ■ 5 ■ 6 ■ 7 □ その他・無回答

質問番号

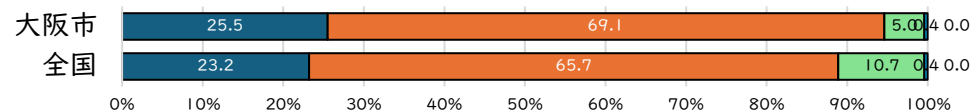
質問事項

※集計値を四捨五入するため、横軸合計が100.0%にならない場合があります。

(7)

調査対象学年の児童は、熱意をもって勉強していると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

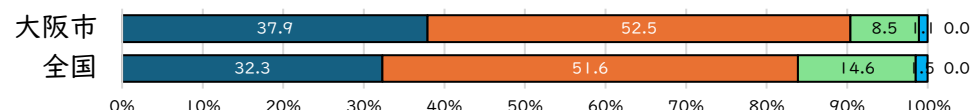


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(8)

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

【学校の回答】 1 そう思う

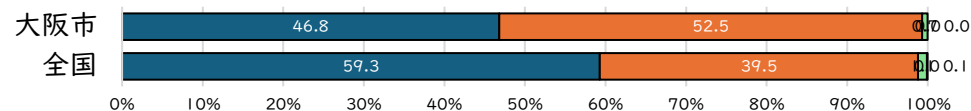


1 そう思う
2 どちらかといえば、そう思う
3 どちらかといえば、そう思わない
4 そう思わない

(11)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学校生活の中で、児童一人一人のよい点や可能性を見付け評価する（褒めるなど）取組を行いましたか

【学校の回答】 1 よく行った

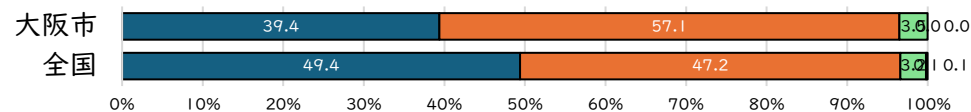


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(81)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

【学校の回答】 1 よく行った

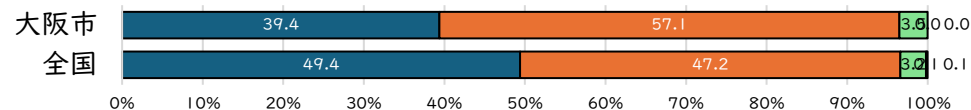


1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった

(81)

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、家庭学習の取組として、学校では、児童に家庭での学習方法等を具体例を挙げながら教えましたか

【学校の回答】 1 よく行った



1 よく行った
2 どちらかといえば、行った
3 あまり行わなかった
4 全く行わなかった